

5 提案の概要

荒川大麻生公園

指定管理者：埼玉県生態系保護協会・花園グリーンサービス共同体

(1) 基本方針

1. 貴重な自然環境の保全・管理
2. 利用者の視点に立ったサービスの向上
3. 安全・安心の確保
4. 多様な主体との連携・協働

(2) 管理執行体制

- ・公益財団法人埼玉県生態系保護協会 常勤職員 4名 + 非常勤職員等 3名（ほか、現地連絡員 1名）
- ・株式会社花園グリーンサービス 常勤職員 3名

(3) 維持管理業務計画

- ・園内の巡回、清掃、安全管理等の日常点検
- ・大雨、大雪、地震等の被害確認のための臨時点検（荒川増水時には洪水時施設撤去マニュアルに基づき基づき対応）

(4) 広報の取組

- ・イベントや自然情報を掲載した「お散歩ガイド」作成
- ・ホームページや SNS、行政発行物、ミニコミ誌、一般紙などを通じ幅広い世代へ公園の情報発信
- ・県の SDGs 推進アプリ「S 3（エスキューブ）」を活用したイベント情報発信

(5) 利用者サービス事業計画

- ・子育て世代に向けた自然体験や公園内の自然素材を使った工作イベントの開催
- ・子どもから大人まで幅広い年代を対象とした自然観察イベントの開催
- ・自然環境保全や公園施設の維持管理、希少植物のモニタリングなどを参加者と共にを行う環境管理イベントの開催。希望者には「ボランティア証明書」の発行
- ・団体利用の受け入れ、SDGs やネイチャーポジティブの取り組みに関心のある企業の活動場所としての提案

- ・移動販売車の誘致によるサービスの提供

(6) SDGs に配慮した運営

- ・地域との連携（地元企業の工場緑化の指導、ボランティアの受入継続・拡大など）
- ・環境負荷低減に配慮した運営（樹木の伐採材等の場内処理など）

(7) 公園の特性を活かした運営

- ・荒川大麻生公園 × 「子どもや若者、子育て当事者にやさしい社会づくり」（自然ふれあい・体験の場の提供など）

- ・利用者目線に立った管理運営（日常管理やボランティア活動を通した環境保全など）

(8) 個人に関する情報の取扱いについての基本方針

- ・イベント参加者やボランティア登録時などに取得した個人情報管理

- ・情報漏洩を防止し、事業を円滑にすすめるためのネットワーク環境の構築

(9) 事故や事件の発生を未然に防止するための予防策

- ・「荒川大麻生公園危機管理マニュアル」の整備・活用

- ・公園内の利用者の動向や他事例の定期的情報共有など

(10) 災害時等緊急事態における危機管理に対する具体的対策

- ・現地連絡員（熊谷）や構成員を含めた体制整備

- ・河川の増水時、水勢により河川敷が削られる恐れがある際の危険箇所への立入制限など